

民意無視の安倍政治

質問Ⅱ 町政の力強い前進への信念は
答弁Ⅱ 民意に寄り添って公正・正直に



山岡 勉 議員

国会（国民）に対する隠蔽・捏造・虚偽答弁をはじめ、たび重なる強行採決は日常茶飯事で、民意無視の安倍政治は国民から厳しい審判を受けるであろう。こんな安倍政治はさて置き、当町は民意に寄り添い住んで良かったと思えるような町づくりを前進しなければならぬ。

池田町長

「いの町の未来を考える会」などで、町民の声に耳を傾ける機会をつくりながら、職員と共に住民の生活に寄り添った、身近で温か

な町政を目指しており、民意に寄り添って町政を力強く進めていく信念は変わりない。

今後も公正で正直な町政を心掛け、職員と共に地域に誇りを持つ町政運営を積極的に進めていく。

地方創生

安倍政権の本気度は

山岡議員

内閣改造で片山地方創生担当大臣となった。片山大臣は国税庁への口



役場本庁舎

利き疑惑や違法看板の設置、たび重なる政治資金収支報告書の訂正など疑惑まみれだ。安倍政権の本気度が伝わってくるか。

池田町長

今後も国は地方創生に取り組みと考えている。

地方創生推進交付金などを最大限活用し、各種施策に取り組みでいきたい。

水道料値上げにいち言

質問Ⅱ 供給施設の耐震化は一般財源で
答弁Ⅱ 独立採算の企業会計で対応

山岡議員

行政が住民に負担を求めるときに「財政が厳しい」は常套句だ。

人口推計の読み方ひとつで財政収支は大きく変わる。

人口推計の精度は。

また、独立採算の公営企業会計の財政規律は一定承認するが、水道供給施設といえども南海トラフ地震をはじめ、自治体に課された災害対策分は、一般財源で対応できるものがあるのではないか。



公園町取水地管理棟

尾崎上下水道課長

人口推計は、国立社会保険人口問題研究所の数値で、不利な条件で検討され厳しいものとなっている。

また、施設の耐震化については国・県の補助を極力活用して行っており、整備された施設は町の財産でもあるが、水道使用者の財産でもあり水道事業会計で維持管理・整備していく必要があると考えている。

宅内の漏水調査サービスを

山岡議員

検針時に量水器のパイロットの確認で、宅内漏水調査を実施できないか。

尾崎上下水道課長

検針時のパイロットでの漏水調査については、今後の課題として検討したい。

町の知名度アップ 仁淀川ハーフマラソンの開催を

山岡議員

水質日本一の仁淀川沿いでハーフマラソンの開催を。

池田町長

仁淀川と銘打ったハーフマラソンの開催は、ランナーやマスコミを通じて、いの町がPRされ知名度アップにつながる。

開催に向けては、工夫や調整などが必要となってくるが、実施に向けて検討してみたい。